

第 2 回 札 幌 市 避 難 場 所 基 本 計 画 検 討 委 員 会 概 要

1 日 時

平成 2 4 年 1 0 月 3 日（水） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0

2 場 所

市役所本庁舎（札幌市中央区北 1 条西 2 丁目） 1 2 階 1 ~ 3 号会議室

3 出席委員

天野委員、安藤委員、一瀬委員、鎌田委員、佐々木委員、定池委員、田畑委員、永田委員、中村委員、成田委員、本田委員、森本委員、矢橋委員（欠席者なし）

4 主な会議内容

(1) 寒さ対策について

(2) 備蓄物資の種類・配置について

5 委員からの主な意見

- ・（札幌式高規格寝袋について）寒いところでも、かなり保温もいいと思うし、クッション状態がよく下からの圧迫感も、今、寝たところでは特に違和感はなかった。
- ・どうしても福祉避難場所でなければならないという方以外（の災害時要援護者）は、地域に残るという選択肢で（避難場所を）提供するとなると、教室は非常に大事である。
- ・電気が復旧すれば、（校舎が電気暖房の）学校は、体育館で灯油切れになったとしても、各教室に移動して、暖をとることは可能である。
- ・移動式の（灯油）ストーブで暖房する場合、供給の大もとからこないような事態になった場合に、ご近所からポリタンクで集めて使うことが可能であるというところもポイントが高く、灯油で対応するのが与えられた諸条件の中では一番よろしいという気がした。
- ・備蓄の配置は、学校の状況を踏まえて、一つのところに偏らないように、そして、大きな備蓄が必要な場合の移動も含めて整備してほしい。